

報道関係各位

2026 年 1 月 21 日

株式会社 eve autonomy

【eve autonomy 主催 無料オンラインセミナー】

アーカイブ配信・3 日間限定／リアルタイム Q&A 対応！

矢野裕児教授と語る、日本の物流の現状と課題解決の糸口



The poster is divided into two main sections. The left section has a blue background and features two circular portraits. The top portrait is of Yuki Yano, with text identifying him as the guest professor from Ritsumeikan University. The bottom portrait is of Kenryo Ryū, identified as the moderator from eve autonomy. The right section has a white background with a blue header. It contains the title 'Logistics "Now" Read and Understand!', a date and time table, and a list of details. At the top right of the right section is an illustration of a truck, a person thinking, and a CO2 emission icon.

eve autonomy主催セミナー	
現状把握から始める課題解決と 未来展望を教授と語る アーカイブ配信	
📅 日時：	2026年2月2日（月）13:00～14:00 2026年2月3日（火）13:00～14:00 2026年2月4日（水）13:00～14:00
📺 形式：	オンライン（Zoom）
📄 参加費：	無料（事前申込制）

株式会社 eve autonomy（イヴ・オートノミー、本社：静岡県磐田市、代表取締役 CEO：星野亮介、以下「eve autonomy」）は、物流研究の第一人者であり、流通経済大学 流通情報学部長、『間違いだらけの日本の物流』の著者としても知られる矢野裕児氏を講師に迎え、物流業界の現状把握と課題解決の糸口を探るオンライン対談ウェビナーを、過去開催内容をもとにしたアーカイブ配信形式にて、**2026 年 2 月 2 日から 4 日までの 3 日間限定**で開催いたします。

本ウェビナーはアーカイブ配信ではありますが、開催期間中は eve autonomy*がリアルタイムでの質疑応答に対応し、参加者からの疑問や関心に直接応える双方向の場を提供します。

*矢野先生へのご質問につきましては、当日の対応ができかねます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

物流業界では、時間外労働の上限規制や深刻なドライバー不足を背景に、「輸送力の制約」が顕在化しています。矢野教授は著書において、日本の製造業における少量多品種生産の拡大が、高頻度かつ時間指定の配送を常態化させ、運送会社に過大な負担を強いてきた現状を指摘しています。さらに、課題解決策として導入が進む配車システムについても、時間指定厳守を前提とすることで共同運行便や配送ルートの変換を難しくし、結果として現場の負担を増大させるケースがあることを示しています。

こうした問題は、いわゆる「先送りとなっているだけの 2024 年問題」とも密接に関わる、業界全体として避けて通れないテーマです。本ウェビナーでは、矢野教授が最新のロジスティクス論をもとに物流業界の現状を体系的に整理するとともに、今後の課題解決に向けた考え方や視点について、弊社セールス&マーケティング部 部長の龍との対談形式で深掘りしていきます。

物流現場の実務担当者から、企画・検討を担う管理職、経営層まで、今後の戦略立案や現場改善を検討するうえでの基礎理解として活用いただける内容です。参加費は無料（事前申込制）となっております。

りますので、ぜひこの機会にご参加ください。

尚、本セミナーでは、物流業界の現状や課題に関する議論を主軸としており、eve auto サービスの具体的な内容については、ほとんど触れません。そのため、弊社サービスの詳細を前提として本セミナーをご視聴される場合には、事前に以下の資料をご確認いただくことをおすすめいたします。

- サービス関連資料：<https://eveautonomy.com/download>

セミナー詳細

- ・タイトル：【アーカイブ配信】物流の「いま」を読み解く！現状把握から始める課題解決と未来展望を教授と語る
- ・日時：2026年2月2日（月）13:00～14:00
2026年2月3日（火）13:00～14:00
2026年2月4日（水）13:00～14:00
- ・会場：オンライン（Zoom）
- ・参加費：無料（事前申込制）
- ・参加方法：[こちら](#)よりご応募ください

<登壇者>



流通経済大学
流通情報学部 教授
矢野 裕児氏

【略歴】

横浜国立大学工学部、大学院、日本大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。工学博士。日通総合研究所、富士総合研究所を経て、現在に至る。専門分野はロジスティクス、物流。主な著書「物流論」「現代ロジスティクス論」中央経済社。

<モデレーター>



株式会社 eve autonomy
セールス&マーケティング部 部長
龍 健太郎

【略歴】

自動運転サービス、物流支援ロボット、そして宅配ロボットなどの小型ロボットなど、様々な新型ロボットの事業化に取り組み、2023年より eve autonomy にて eve auto サービスのマーケティングを担当。

自動搬送サービス「eve auto」



eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせずに自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。

eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されているEVカートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル4での無人搬送運用を実現しているため、24時間稼働が求められる施設での運用も可能です。現在、全国約50

拠点・90 台以上が稼働しています。

【主要スペック】

製品名	eve auto(イブ・オート) FG-01
寸法／重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg
最大牽引重量／ 積載重量	1,500 kg／300kg
駆動方式／バッ テリー	DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スペア交換可能）
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度（17％）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12％）積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）
主な管理機能	FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携 等

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://eveautonomy.com/service>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://eveautonomy.com/casestudy>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy セールス & マーケティング部

TEL：0538-40-9170

Mail：mk@eveautonomy.com

Web：<https://eveautonomy.com/contact>

株式会社 eve autonomy

本社：静岡県磐田市大瀬 868 番地 1

代表取締役 CEO：星野 亮介

HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は「今日から自動化」のスローガンのもと、工場や物流施設での屋外搬送業務の無人化を実現するサービス「eve auto®」を提供しています。私たちのビジョンは、すべての「働く」に彩りを加え、人々がより豊かで楽しく、喜びに満ちた人生を歩むことができる社会を実現することです。世界最先端の自動運転技術と、長年にわたり培われた品質・信頼を基盤に、世の中の「運ぶ」をアップデートし、新たなワークスタイルの創出に貢献してまいります。

「愛ある者であれ」。この価値観を胸に、私たちは人間らしいアプローチでチーム、事業パートナー、お客様と接し、持続可能で豊かな未来を共に築いていきます。